

「第2回エリア別地域協議会」開催結果

1 開催日時・場所

【県東部】令和3年11月2日（火）午後2時55分から午後4時30分までの間
滑川市産業研修センター

【県西部】令和3年11月5日（金）午前10時から午前11時15分までの間
小矢部市民交流プラザ

2 出席者

(1) 協議会委員

県東部 26名

県西部 24名

(2) 警察本部

地域部長、警務部首席参事官 外

3 議題等

警察本部から「第1回エリア別地域協議会における意見・質問に対する回答」、「再編の必要性・再編の効果」等を説明した。

4 主な意見

(1) 県東部

- ・ 県境の重要性を考慮してほしい。県境を抱える警察署は「可住地域が管内中心部から概ね10km圏内」といった基準を適用しにくいのではないかと考える。
- ・ 新警察署が建設された市や町には、分庁舎は必要ないのではないかと考える。
- ・ 立山黒部アルペンルートがあり、山岳警備の必要があるという特性や、国道8号バイパスが通っていない道路事情から分析すると、できれば上市単独を望むが、再編がやむを得ないということであれば案1（「入善・黒部・魚津」、「滑川・上市」）がよいと考える。
- ・ 案1（「入善・黒部・魚津」、「滑川・上市」）の場合、現在の上市署から半径10km圏内に滑川も入るので、よい管轄になると考える。
- ・ 案2（「入善・黒部」、「魚津・滑川・上市」）が東部消防組合の圏域と同じであり、事件事故の際に互いに連携が取れるので望ましい。
- ・ これまで1つの自治体に警察署があり、交通安全や犯罪予防等において、互いに協力して活動してきたので、分庁舎化した場合でも、人員増や機能の充実等を検討し、住民が安心できるようにしていただきたい。
- ・ 再編後も防犯協会や交通安全協会等、住民の活動を警察がしっかりサポートしていただきたい。
- ・ どの案になろうと、住民の不安を払拭し、安心を与える、住民に顔が見える警察業務をお願いしたい。

- ・ 警察業務の機能や効率といった観点からどの案がいいのかは警察から提示してもらえばいいと思う。地域の皆さんからは、今の形を維持したいといった意見が多く出てきているが、それでは前に進まないと思う。警察から各案のメリットとデメリットを示していただき、それに対して我々がローカルな意見を述べることで更に議論を深められるのではないかと考える。
- ・ 再編統合により住民の安心安全に影響が出ないことを十分に説明することが必要。住民が安心安全に暮らしていけるような再編をしていただきたい。
- ・ 日常の警察業務の大半は、分庁舎で対応できることはわかったが、人員を増やすなどして体制を整え、事件事故の対応をしっかりとっていただきたい。
- ・ 消防の管轄を踏まえると案2（「入善・黒部」、「魚津・滑川・上市」）又は案3（「入善・黒部」、「魚津・滑川」、「上市」）が良いが、山岳事故対応を考慮すると案3になる。ただし、案2の場合、上市署管内が広いので、上市署を機能強化すればよいと考える。

(2) 県西部

- ・ 建設費の問題や人口減少の問題、高岡署と氷見署の老朽化事情からすれば、案1（「高岡・氷見」、「砺波・南砺・小矢部」）が適当。
- ・ 砺波地域一元という意見があり、案1（「高岡・氷見」、「砺波・南砺・小矢部」）が適当と考える。
- ・ アウトレットモールには年間400万人強の人が訪れ、6～7割が県外者であるが、犯罪者が県内に入ったらプレッシャーを与えることも1つのパフォーマンスとしてやってほしい。
- ・ 新しい警察署が建設される場所は市街地から離れる可能性があり、その場合の市街地の治安維持対策をお願いしたい。
- ・ 分庁舎となった後も老朽化の問題は残るため、その対応を検討すべき。
- ・ 氷見市は奥深く、全体的な地域の安全をカバーするため、氷見署は単独で残してほしい。
- ・ 今の協議会では再編案を決めるのか。また、建設場所を決める時には再度協議会を開催するのか。
- ・ 砺波・南砺・小矢部で再編した場合、3市の人口を合わせると13万人弱であり、かつ、山を抱える状況等は現在の富山南署の管轄と似ているが、富山南署の現状から再編のメリットデメリットを教えてほしい。
- ・ 将来、人口が減少すれば警察官定員も減少する可能性があり、今、再編により中規模署となっても、将来は小規模署になってしまうおそれがあると感じる。
- ・ 砺波ブロックはブロック内で協議し、砺波・南砺・小矢部で再編するという意見になっているが、高岡と氷見は個別に協議している感じがしない。